

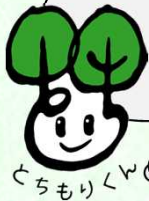
4. とちぎの山からどのくらい丸太（素材）が生産されていますか？

統計書44ページ

素材の年間生産量は約58万m³です。

素材とは、山に立っている木を伐採して運び出した、樹皮などがついたままの丸太のことです。素材の年間生産量は全国で11番目となっています。

競泳用の50mプールでたとえると、**約230杯分**です。
(50m×幅2.5m×深さ2mとして)
栃木県の素材は、**約9割**が製材工場で柱や梁（はり）などに加工されています。



とちもりく



山から運び出される丸太（矢板市）



木材共販所（矢板市）

5. 建物に使われる木材はどのくらい生産されていますか？

統計書46ページ

建築用材の年間出荷量は約24万m³です。

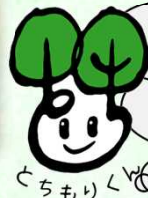
主にスギやヒノキなどの針葉樹林から、家を建てるための柱や梁（はり）などが生産されています。



製材工場（那須塩原市）



木造住宅



とちもりく

1年間に**木造住宅約1万戸分**の建築用材を出荷しています。

(木造住宅1戸24m³として)

6. きのこと山菜等はどのようなものが生産されていますか？

統計書9、49ページ

しいたけ、なめこ、ひらたけなどで、年間生産量は生しいたけで約3,100トン（全国6位）です。

きのこをはじめとする本県の特産林産物は、福島第一原子力発電所事故の影響を受け、主要作物であるしいたけなどにおいて出荷制限の影響により、生産量が大きく減少しています。

しかし、安全な栽培方法の研究・普及など放射性物質対策を進めてきた結果、出荷制限の一部が解除されてきており、対策の効果が着実に表れてきています。



菌床栽培しいたけ



原木栽培しいたけ



原木栽培しいたけのほだ木（芳賀町）